

我が家の家庭教育

芝崎 岩澤 和子

暖かな家庭こそ 生きた家庭教育

最近、中国では、国を挙げ一人っ子政策を取っている為、一人の子供に対し両親と父方、母方二組の祖父母が溺愛する為、我儘で独立心のない子に育ってしまった、この子供達が社会を背負う傾には、どうなるのか懸念される声も

あるという記事を読みました。日本でも近頃は、物が豊富で、何でも買える時代になり、子供達の遊具などは、何と贅沢な物が氾濫していることでしょう。その為に、ありがたみがわからなかったり、物を粗末にする傾向にあり、恵まれすぎて、却って不満が残り、思考力、想像力に欠けた子供が増えてきた様に思います。私は、子育てに特別な信念を持って育てた訳ではありませんが、子は親の背を見て育つと言われ、又、親を写す鏡だとも言われます。毎日の生活の中で、親の態度や躰、回

りの環境によって、子供の人間型成がなされていくと思います。子供は親を選べないのですから、子供を持つ以上は、責任を持って育てていかななくてはなりません。我が家は、三人の子供と、夫の両親同居の七人家族です。子供達も、自分の事は自分でどうにかできる



岩澤さんご一家

年頃になった今、一時は「飲んだも、喰ったもわからない」言葉どおり、両親の手助けなしには、育てられなかった時期もありました。振り返って見ると、育児に手の掛かる時期は、一生の内の一時に過ぎません。その一時を抜きすぎると、後で、とんだしっぺ返しがかかると思います。仕事は一生、子育ては一時。そう思えてなりません。嫁いで、十三年余り、家族を誉めるのも、おかしいかも知れませんが、夫の両親は、

いたらない私を、良く面倒見てくれました。その両親の元で育った夫も心優しく、おおらかな人です。この様な家族の中で、毎日の生活を共にし、成長した子供達も温和で、素直に育った様に思います。「断絶」とか、「プツン家族」とか囁かれる現在、うちでは良く、家族揃って行動します。仲良き家族、和を持った暖かな家庭こそ、生きた家庭教育であり、財産だと思っております。

小川台古墳群 小川台

ひかりまちの風土記 ⑤



出土された埴輪

小川台には、円墳十二基、前方後円墳五基、方墳一基の古墳が確認されています。昭和四十九年にこの中から五基の発掘調査が行なわれ、鉄剣・埴輪・勾玉などが多数出土しました。出土品からそれぞれ五世紀頃から八世紀頃の古墳だと推定されます。また、昭和六十一年には、この古墳群の隣に奈良、平安時代の集落の遺跡も確認されています。

心身障害児巡回相談

心身に障害のあるお子さんの育児に関する問題や就学など、教育上の問題で悩んでいる方がたのために、巡回相談を行います。

お子さん同伴で気軽においでください。

7月26日 銚子養護学校（海匝地区）
JR銚子駅下車、千葉交通バス旭・八日市場行「農場前下車」徒歩8分

申込方法 相談を希望される方は、申込書により6月24日までに町の教育委員会に申し込みください。くわしくは教育委員会 ☎84-1211へ